

七

G-0037

0299

此段申進ス													=	=
外務省 (乙 號用紙) 園 納														

G-0037

0300

参考

最近四ヶ年間ノ本邦統計ノ通覽  
ヲ安 境港ニ外船ノ入港ナシ

外務省

G-0037

0301

電信課長

大臣  
次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人文 社會

寫送先

9.25.49

昭和4 一六三四四 平

境 本省 十一月七日後着

秘書

幣原外務大臣

鳥取縣境町長

(至急)

境港修築豫算ニ付御高配ヲ感謝ス尙閣議ニテ通過スル様御願ヒ申ス

外務省

記

林野部 林務課 林務課長

G-0037

0302

22

通商局

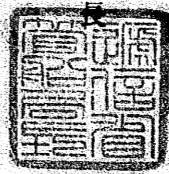
海第二〇九八號

昭和三年九月十九日

昭和三年九月廿日 送受  
遞信省

渡田

遞信省 管船局



外務省 通商局長殿

（取具）  
境港港界擴張ノ件

境港修築工事計畫ニ屬スル防波堤延長工事完成後ハ境町前面ノ内港ニ出入不可能ナル大型船ハ自然灣港界外ニ碇泊スルノ余儀ナキニ至リ取締上並船舶側ノ不便尠ナカラサルヲ以テ開港港則第一條中境ノ港界ヲ左記ノ如ク改正致度見込ニ有之候間貴省御意見承知致度

左記

境ノ港界ハ境港燈臺ヲ中心トシテ二海里半ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ一弧以西及外ノ江ノ西端ヨリ正北ニ引キタル一線以東

611.156

記 録 簿

G-0037

0303

23  
武富

611-156

文書課長

文書課發送 昭和三十二年九月七日發送済

淨書 (原稿)

正(原稿)

(淨書)

(原議用紙甲)

公信案

27 50

主 任 通商局長 武富	通二普通第 五五の 號	昭和三十二年九月廿七日附	附屬書	通
	受 信 省 通 信 省	發 信 人 名 武富通商局長	名 込 綴	
件 名 鳥取縣境港港界 擴張ノ件	本件は、本月五日附海防二九八号ノテ、 御座候事、了取右ノ就、 異議見無之、并右様御了知相成度			

公信案

異議見無之、并右様御了知相成度

3.2

G-0037

0304



陸郵部

三ノ本

分類(91.2.0.4)

通商局長

發庶第一。四 號

昭和八年四月四日

鳥取縣知事 館

哲

二



外務大臣 伯爵 内田 康 哉 殿

昭和八年三月二十七日ノ臨時縣會ニ於テ縣下境港ヲ第一種重要港灣ニ選定方ニ關シ別紙意見書ヲ決議シ直ニ内務、遞信兩大臣へ提出致候條爲念及御報告候

鳥取縣

鳥取縣 本縣港灣第一種

昭和八年四月 六日 發

232

G-0037

0305



境港ヲ第一種重要港灣ニ選定方意見書

管下境港ハ明治四十年十月第一次選定ニ係ル全國重要港灣十二港ノ一ニ該管  
シ日本海方面ニ於ケル屈指ノ良港ニシテ滿鮮、西比利亞方面トノ通商貿易上  
至便ノ地位ヲ占メ就中北鮮諸港トノ連絡交通ニ至リテハ新潟、伏木、敦賀、  
舞鶴ノ各港ニ比シ著シク捷路ニ當リ加フルニ工費二百萬圓ヲ以テ施行シタル  
修築工事ハ幾ニ全ク竣功ヲ告ケ外洋船舶ノ出入ニ支障ナク殊ニ新ニ施設セラ  
レタル岸壁ニハ三千噸乃至五千噸級ノ船舶三隻乃至四隻ヲ同時ニ繫留スルコ  
トヲ得ヘク其ノ他諸般ノ施設概ネ完成シ全國有數ノ港灣トナルニ至レリ然ル

鳥取縣

ニ現在同港ト朝鮮間ノ定期航路トシテハ朝鮮總督府命令航路トシテ朝鮮郵船  
株式會社、島谷汽船株式會社ノ二航路アレトモ右ハ何レモ寄港地多ク朝鮮内  
地間直通航路ナキハ北鮮内地ノ連絡並滿蒙開發上實ニ遺憾トスル所ニシテ殊  
ニ滿洲國ノ獨立成リ之カ中央政府ヲ新京ニ置カルルニ及ビ之ト最モ密接ノ關  
係ニアル北鮮ノ要津、雄基、羅津、清津元山ノ諸港ノ使命ハ愈々重加シ此等ヲ連  
絡スヘキ鐵道吉會線亦近ク貫通ヲ告ケムトシ滿蒙北鮮ト帝國本土殊ニ裏日本  
トヲ連絡スヘキ直通航路ノ設定ハ極メテ喫緊ノ要務ニシテ我境港ハ其ノ起點  
又ハ終點港トシテ最モ理想的良港ニ屬シ加フルニ軍事上一旦緩急アル場合ハ



軍隊輸送上極メテ重要ナル位置ニアリ以上考<sup>要</sup>スルニ境港ハ日本海方面他ノ各港ニ比シ諸般ノ點ニ於テ特徴ヲ具備シ極メテ優レタル地位ヲ占ムルノミナラス現ニ第一種港灣タル敦賀港ニ比シ何等ノ遜色ナキヲ以テ境港ヲ第一種重要港灣ニ選定セラレムコトヲ切望ス

右府縣制第四十四條ニ依リ意見書提出候也

昭和八年三月二十七日

鳥取縣會議長 井上光美

鳥取縣

G-0037

0307